

令和7年度 人権標語表彰者

末恒小学校の児童のみなさん

末恒小学校の児童を対象に人権標語の作品を募集し、応募作の中から最優秀賞、優秀賞、佳作を選出しました。

10月26日(日)の地区文化祭で表彰式を執り行い、最優秀作品は地区内施設・店舗に張り出し、人権意識啓発の向上に努めています。



最優秀賞	低学年の部	2年	吉田 英苺	ありがとう あふれるすえつね みんながえがお
	中学年の部	4年	花岡 晴太	助け合う いじめやけんか みのがさない
	高学年の部	6年	砂田 柚菜	見てないで ゆうきをだして 声かけよ
優秀賞	低学年の部	1年	舞野 佑	ありがとう そういわれると うれしいね
		1年	中山 玖麗亜	すえつねしょう やさしいことばで いっぱいに
		2年	木下 ひなた	つなごうね 元気なえがお すえつねしょう
	中学年の部	3年	前田 紗那	ありがとう すてきな笑顔 なかよしだ
		3年	竹永 悠	こまったときは たすけてあげる あんしんしてね
		4年	松本 橙士	えがおさく やさしい言葉 使おうね
佳作	高学年の部	5年	下田 凧時	ありがとう 自然にできると いい学校
		5年	田中 野乃夏	大丈夫? 困っていたら 声かけて
		6年	竹本 樹生	笑顔咲く 心のあいさつ つながるよ
	低学年の部	1年	濱橋 知希	がんばろう だいじょうぶ ぼくはきみのみかただよ
		2年	寺田 柊翔	元気いっぱい いつでもえがおで いい気持ち
		2年	和田 治樹	友だちに すなおにあやまる ごめんなさい
中学年の部		4年	砂田 菜乃葉	だいじょうぶ みんなが協力 助けあう
		4年	田中 杏奈	「ありがとう」プラスの言葉 使おうね
	高学年の部	5年	木下 旺汰郎	末恒小 安心楽しい 学校に
		6年	瀬戸根 愛幸	手をとって 笑顔の町へ 向おうよ

令和7年度購入新刊図書(人権関連)

	図書名	著者
児童書	わたしとなかよし 自分を大切にすることの重要性を教えてくださいの絵本です	ナンシー・カールソン
	教室はまちがうところだ 子ども達の背中を押してくれるような力強い言葉を紡いだ絵本です	蒔田 晋治
一般書	風を切って走りたい! 夢をかなえるバリアフリー自転車 逆境や苦難にも負けない姿を描いた渾身のノンフィクションの本です	高橋うらら
	身の回りから人権を考える80のヒント 日常にある身近な出来事から、差別や人権に関するテーマを解説する本です	武部 康弘

編集後記: 日頃から人権啓発活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。人権は特別なものではなく、私たちの毎日の暮らしの中にあります。これからも身近なテーマを通して、人権について考えるきっかけを皆さまに届けていきたいと思っております。今号の発行にあたり、ご寄稿いただいたみなさまに心よりお礼申し上げます。

末恒

じんけんだより

令和8年3月31日発行
編集・発行
末恒地区
人権啓発推進協議会
鳥取市伏野1986-32

今年度の人権啓発活動を振り返って

末恒地区人権啓発推進協議会
会長 山本 英世



末恒地区の皆様には、日頃より地区人権啓発推進協議会の活動に多大なるご協力、ご理解をいただき誠にありがとうございます。「民主的社會の建設と明るい地区づくりを目指すため人権啓発の推進を図ること」という本協議会の目的を達成するため、本年度も様々な活動に取り組んできましたのでその一例を紹介いたします。

昨年度より「小地域懇談会」は、全町内を二つのブロックに分けて2日間で開催することにしました。参加者は各町内の役員の方が中心ですが、多くの町内会が単年の役員のため毎年参加者が代わり、啓発という意味で成果が上がっていると考えます。参加された方からも研修を受けてよかったとの感想をいただき、しばらくはこの形で開催したいと思います。

現地研修は、6月に自主防災会を中心に大がかりな防災フェスタが開催されたことを受けて、11月に神戸の「人と防災未来センター」へ出かけました。31年前に起きた阪神・淡路大震災の資料や映像で震災の激しさを体感し、被災された方の体験談を聴いて、災害時の人々の協力の大切さやありがたさを学びました。

2月の人権講演会(福祉大会)では、日本海テレビアナウンサー小林沙貴氏による、「これって“差別”?放送用語から見ると人権」を聴きました。「侮辱の意思がないことが大前提」「正確さを優先して誰かを傷つけないよう」「異文化への配慮」等、わかりやすく、さわやかな声で話されました。日頃何気なく見聞きするテレビですが、放送する側として、様々な人々の人権に配慮しながらニュースや番組を作っていることを知り、参加者からも大変好評でした。

来年度も人権に関わる様々な活動を通して、「明るい地区づくり」を目指しますので地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

◆令和7年度 人権啓発推進事業報告◆

たくさんのご協力ありがとうございました。

月	日	曜日	内容	場所
4	11	金	湖東ブロック人権啓発推進協議会 年初総会	賀露地区公民館
	12	土	末恒地区人権啓発推進協議会監査会	末恒地区公民館
	26	土	末恒地区人権啓発推進協議会評議員会	末恒地区公民館
5	20	火	第1回末恒地区人権啓発推進協議会推進委員会	末恒地区公民館
7	12-26	土	小地域懇談会	末恒地区公民館
	18	金	湖東ブロック人権啓発研修会打合せ会	千代水地区公民館
9	6	土	湖東ブロック人権啓発研修会	末恒地区公民館
9	18	木	第2回末恒地区人権啓発推進協議会推進委員会/人権標語選考会	末恒地区公民館
10	26	日	人権標語表彰式	末恒地区公民館
12	5	金	湖東ブロック人権啓発推進協議会会長会	千代水地区公民館
2	3	火	第3回末恒地区人権啓発推進協議会推進委員会	末恒地区公民館
2	28	土	人権講演会(福祉大会)	末恒地区公民館
3	7	土	湖東ブロック人権啓発推進協議会推進員研修会・年度末総会	賀露地区公民館
	31	月	じんけんだより発行	

湖東ブロック人権啓発研修会

日程 令和7年9月6日(土)
場所 末恒地区公民館

研修【1】 DVD視聴「ある精肉店のはなし」
研修【2】 講演「特殊詐欺の実態と対策」

講師:鳥取市人権教育推進員 田中秀幸氏
講師:鳥取警察署生活安全課 吉田千佳警部補



～「ある精肉店のはなし 人権教育編」のDVDを視聴して～

貝塚市にある牛の肥育から屠殺して食肉にすることを生業とし、職業による差別を受けながら代々暮らしてきた家族の現状をその現場を映しながら話をされています。普通ではないこと、牛を殺すこと、穢れや恐れからいやらしい仕事として差別を受けてきたが、多くの差別は特定の地域や職業を指し、始まりは不明のまま現在まで続いており、理不尽極まりないと感じました。

ところで、牛と言えば昭和30年代農耕を行うため多くの農家で飼育し、牛も年を取ると博労を介して売買していました。牛のその後は知りたくなかったと思うと、差別の下地を感じてしまいます。(末恒地区人権啓発推進協議会 推進員)



人権啓発事業 (現地学習)

日程 令和7年11月11日(火)
場所 神戸「人と防災未来センター」

～過去の災害の教訓を学び、未来へ活かそう～



人権学習で初めて神戸「人と防災未来センター」に行きました。阪神・淡路大震災が起きた時に鳥取でも大きな揺れが発生し怖かった事を思い出しながら、被災体験者の方の講話では生の声を聞かさせていただくことで、神戸の人々の恐怖心を感じると同時に、助け合い・人と人との繋がりがとても重要であることを学びました。中でも「人と人との触れ合いがあり、力を合わせたことで前に進め、今もこうして頑張っている」と話されたことに感動し、涙が溢れました。私たちもそうした気持ちを大切に持ちながら、震災は「いつでも、どこでも」起こるんだという意識をしっかりと持ち、みんなで防災活動を進めていかなければいけないと感じました。

研修の後には中華街での美味しい広東料理とキリンピール工場で試飲し、帰路のバスでは防災クイズ大会で復習し、充実した一日でした。

今年1月6日の島根地震発生時に、我が家の義父の遺影が音を立てて落ちました。「いつ災害が起こるか分からないから備えは大丈夫か?」と言われているようにでした。(末恒地区人権啓発推進協議会 推進員)



福祉大会 (人権講演会)

日程 令和8年2月28日(土)
場所 末恒地区公民館
講師 日本海テレビジョン放送株式会社
報道制作局アナウンサー
小林 沙貴 氏

演題 『これって“差別?”
放送用語から見る人権』

～「人権講演会」に参加して～

私達が生きていく上で「人権」ってとても大切なことなのに、普段あまり考えていない私ですが、皆さんはどうですか?

先日、人権講演会でのお話を聞き、これまで番組から流れる言葉に何も感じず、聞き入れていましたが、少し考えながら視聴するようになりました。

アナウンサーの小林沙貴氏が「報道用語から見る人権」について、わかりやすくお話くださいました。放送基準は「何よりも人権を優先すべき」とのこと。その為、放送用語にはいろいろな規則やルールがあり、それらも時代と共に変わるので、常に配慮しながら取材されていることなど報道の裏側の大変さを知りました。インタビュー時には「事前想定を作らない」「対象者の意図を正確にくみとる」とのお話もあり、このことは私達の人と人との関りの中でも大切な考え方であると思いました。

またSNSやAIなどから流れる情報にも頼り過ぎには気をつけたいものです。

講演の終わりにアナウンサーの方の服装に関する裏話も聞き「人権」の場がにこやかな雰囲気になるなど、実りある講演会でした。(末恒地区社会福祉協議会 A・T)



「白兔のご縁」 ～地域と地域の皆様とともに～



鳥取県立白兔養護学校 主幹教諭
安藤 嘉洋

鳥取県立白兔養護学校は、「白兔のご縁」をテーマに、地域を大切にする心を育てるとともに、地域の方々との関りを深めるための様々な活動に取り組んでいます。

高等部では「はくとよろずや」を公民館で行い、農業班が育てた野菜やものづくり班が作ったお皿、茶わんなどを販売しています。いつも多くのお客様にお買い上げいただいていることは、生徒たちにとって大きな励みとなり、「次もよい製品を作るぞ」という意欲になっています。また、高等部の総合サービス班は公民館の清掃をしています。丁寧に清掃することを心掛け、「いつもありがとう」「とてもきれいになったよ」と声をかけていただくことで、「もっときれいにしよう」という気持ちや「人のために働こう」という意識の向上につながっています。その他にも、高等部では地域の方と調理や陶芸、中学部ではスポーツ大会をしたり育てた花を公民館に届けたりしています。このような取り組みが、児童生徒の大きな成長へとつながっています。

今後も「白兔のご縁」の活動の御理解と御協力をお願いします。

小地域懇談会

開催日:令和7年7月12日(土)・26日(土)

本年度の小地域懇談会は、地区を分けて合同開催とし、2回に分けて行いました。

～障がいを知り、共に生きる地域共生社会をめざして～をテーマに、あいサポーター研修を行いました。研修により、障がいの特性や、必要な配慮などについて学び、障がいのある方が安心して過ごせるために、私たちができることについて考える良い機会となりました。

相手の立場に立って行動することの大切さを、これからの生活の中でも意識していきたいと思えます。



アンケート結果

- 小地域懇談会に参加したことはありますか?
〈はじめて 60% 参加したことある 35% 未回答 5%〉
- 今回の小地域懇談会がこれからの生活に役立ちそうですか?
〈参考になった 82% 少し参考になった 18% 〉
- DVD視聴と研修の内容はどうでしたか?
〈よく分かった 79% 少しわかった 21%〉

ご意見・感想

*とても勉強になり今後考えながら、あいサポートを心がけていきたい。*改めて気づかされることが多々ありました。
*障がいがある人への関りを社会(自分自身含め)で行う事への意識が必要なこと、自分の知らない障がいがあることが分かった。*手話指導もあり良かった。

子どもの人権学習

～人権について考えよう～

開催日:令和7年7月29日(火)

青少協と共催で、夏休み子ども事業時にDVD視聴と人権クイズを実施しました。クイズでは色々な障がい者マークについて学び、みんなで助け合う行動について考えてみました。



国際交流

～世界とつながるひととき～

開催日:令和8年2月19日(木)

鳥取市国際交流員の中国担当・韓国担当の方にお越しいただき、それぞれの国の料理とゲームを体験しました。

交流員の方のお話もたくさん聞くことができ、多様な文化や価値観に触れることができました。

